

## やってみる（挑戦）

～わくわく登校 納得の下校～

## 前期を振り返り、後期に備えましょう！

今年度清里小学校が目指す資質・能力は3つ【関わり合う力】【課題解決能力】【自己管理能力】です。この目指す資質・能力を子供たちのアンケート結果から前期がどうだったの振り返ってみたいと思います。下の表をご覧ください。（「よくできた」「まあまあできた」「あまりできなかった」「全くできなかった」の4段階評価のうち「よくできた」の項目に絞って考察しています。）

求めたい資質・能力と主な質問	5月末時点		9月末時点
◎関わり合う力（行事、係活動、委員会等） 問：目標を立てて、仲間と楽しく協力しながら活動をしましたか？	68%	→	47%
◎課題解決能力（授業） 問：学習の中で疑問をもち、意識して解決しようと思うばかりではなく、他の学習にも生かそうとしましたか？	26%	→	35%
◎自己管理能力（学校生活） 問：清里小学校の3つの「あ」（挨拶、安全、後始末）運動を進んで行いましたか？	46%	→	53%

## &lt;考察&gt;

【**関わり合う力（行事、係活動、委員会等）**】に関しては、5月末時点からすれば21ポイント下がっています。これは、『運動会の成功』といった大きな目標が5月末にあったからだと考えます。一見、下がったと考えますが、9月末時点でも「よくできた」項目の評価が50%近くあるということ。更に言うと、「よくできた」「まあまあできた」の項目を合わせると94%に達しており、このことは、5月末の運動会に向けての意欲（95%）とほぼ変わらず、子供たちの評価が高いことがうかがえます。

5月末からは、3つの資質・能力に合わせて各学年の目標を具体的に立ててきました。（学校便り5号に掲載済み）全ての学年で教室に大きく目標を掲示し、毎朝確認したり、帰りの会に目標の振り返りを行なったりと常に子供も教師も意識してきた結果だと思っています。後期前半に向けて更に伸ばしていきたい資質・能力です。

【**課題解決能力（授業）**】に関しては、9ポイント上がっています。このことは、授業を参観すると、一目瞭然で、先生方の授業改善により、子供たちが主体的に学習に参加している事にあると考えます。『くまもとの学び推進プラン』『あらおベーシック』などを基に先生方が積極的に子供主体の学習を展開することに全力を注いでいる状況です。授業に対する子供たちの目が生き生きとしています。後期の授業参観ではどのような授業が行なわれるのか楽しみです。

【**自己管理能力（学校生活）**】に関しては、7ポイント上がっています。特に最近では、学年問わず、挨拶がよくなっています。お子様は、朝起きたら「おはよう」、登下校中に「おはようございます。」「こんにちは。」と挨拶しているでしょうか？挨拶は、『心をひらいて接する』という意味があるそうです。挨拶されて嫌になることはありません。不易と流行の不易の部分のよさも体感していけるといいですね。安全については、自分の身は自分で守って生活していると感じています。後始末に関しては、まだまだ課題があり、遊んだ後の一輪車やボールの片付けが今ひとつというところ。後期前半の課題としてほしいと考えます。

何はともあれ、前期、清里小学校の児童一人ひとりに大きな成長があったことは紛れもない事実です。自分がやってきたことを振り返りながら、後期前半を迎えてほしいと考えます。

ご家庭でも、前期頑張ったことについてしっかりと子供たちを褒めていただければと思います。